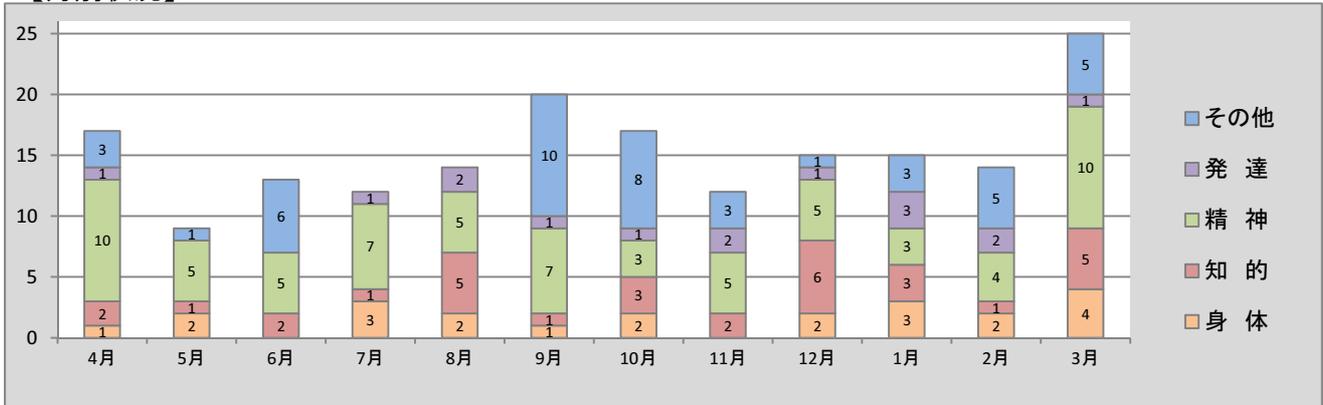


札幌障がい者就業・生活支援センター たすく 平成26(2014)年度 相談・支援活動報告

1. 新規相談の状況

【月別状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
身体	1	2	0	3	2	1	2	0	2	3	2	4	22	12.0%
知的	2	1	2	1	5	1	3	2	6	3	1	5	32	17.5%
精神	10	5	5	7	5	7	3	5	5	3	4	10	69	37.7%
発達	1	0	0	1	2	1	1	2	1	3	2	1	15	8.2%
その他注1	3	1	6	0	0	10	8	3	1	3	5	5	45	24.6%
計	17	9	13	12	14	20	17	12	15	15	14	25	183	

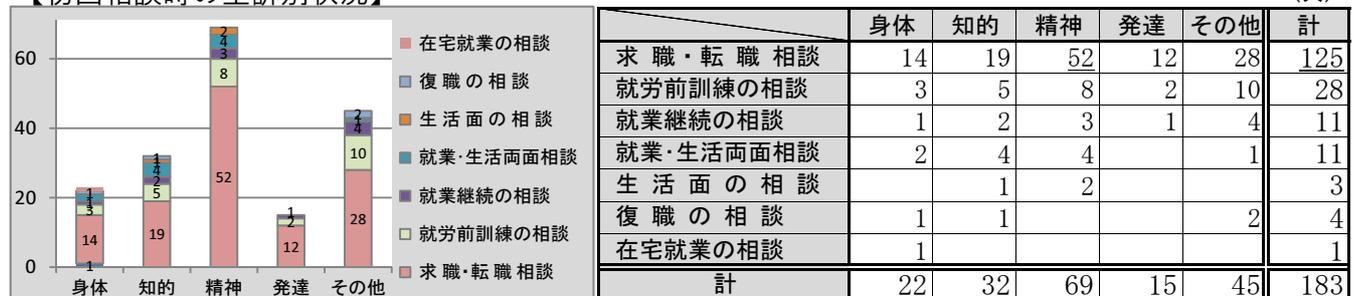
※注1 その他… 難病、高次脳機能障がい、障がい内容不明を含む

【相談経路別状況】



※注2 その他機関… 企業、若者サポートステーション、職業能力開発校 など

【初回相談時の主訴別状況】



新規相談は昨年度から14件減少しましたが、発達障がい・難病・高次脳機能障がいの方からの相談は増加しており、障がい内容の多様化に合わせ、それぞれの特性に即した対応が必要となってきています。

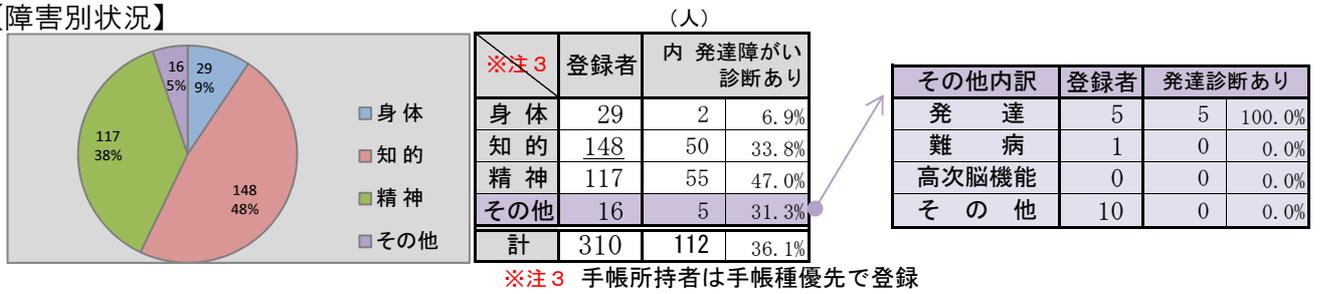
『働き続けるためにどうしていけばよいか』を一緒に考えていくことを大切に、相談を進めています。

働きたい気持ちを共有すると同時に、働きづらさの要因を分析し、どんな配慮があれば？どんな環境だったら？を思い描き、現実とマッチさせていくか…。たすくの面談室だけでは不可能であり、いろんな方のお力が不可欠です。

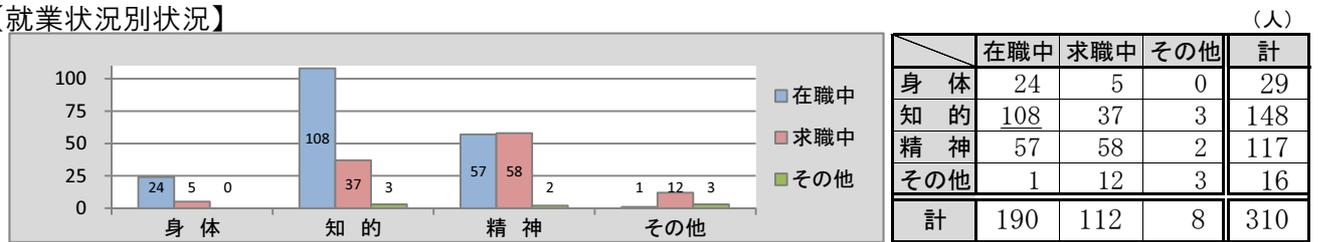
『働き続けるために…』を、職場やご家族、支援機関などといかに共有していけるか、永遠の課題かもしれません。

2. 登録者状況

【障害別状況】



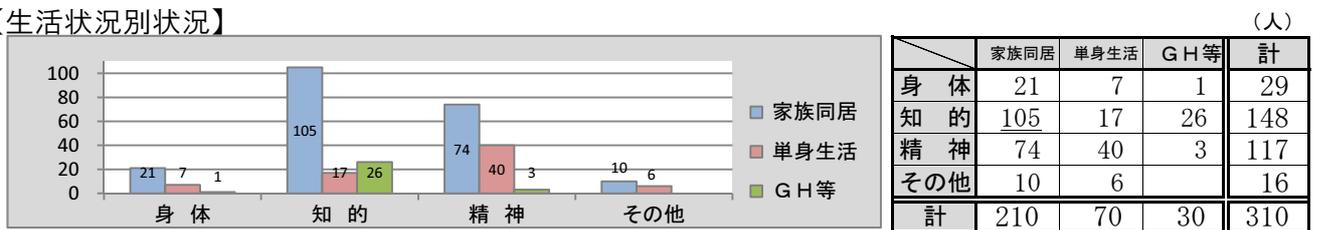
【就業状況別状況】



【居住区状況】



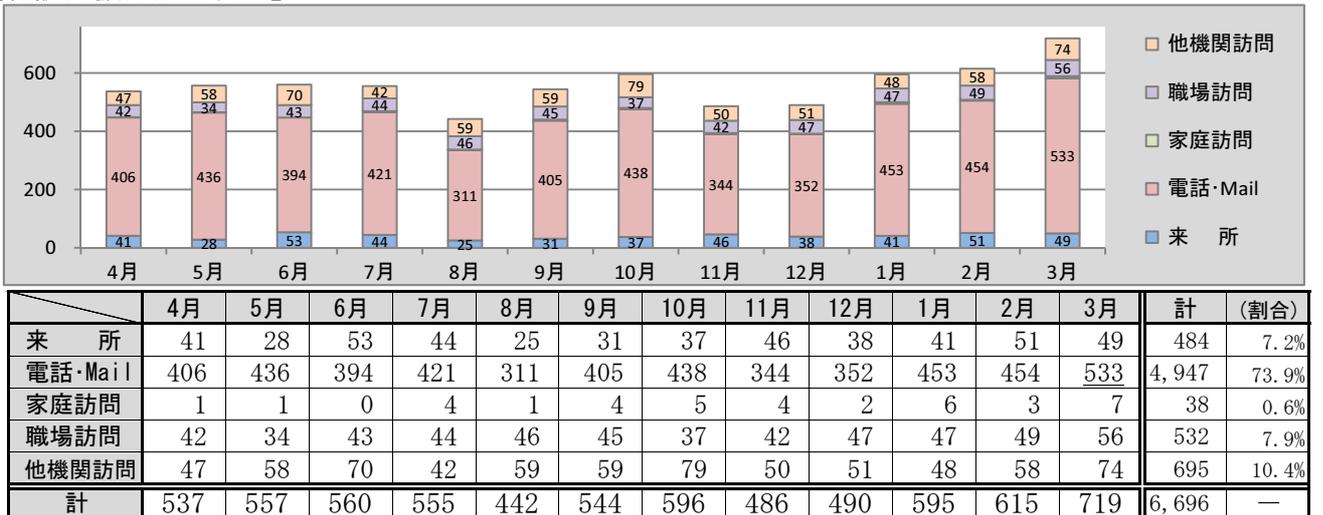
【生活状況別状況】



年度当初253名でスタート、今年度は57名の方を新規に登録させていただきました。
 手帳を所持されている方は手帳種を優先して登録しているため、グラフでは読み取れませんが、難病の方が7名（ミオパチー、クローン病、サルコイドーシス、多発性硬化症、脊髄小脳変性症、ピュルガー病等）、高次脳機能障がいの方が8名含まれています。
 在職中の方が190名、前年度比24名増となっており、職場定着支援にも走り回った一年でした。

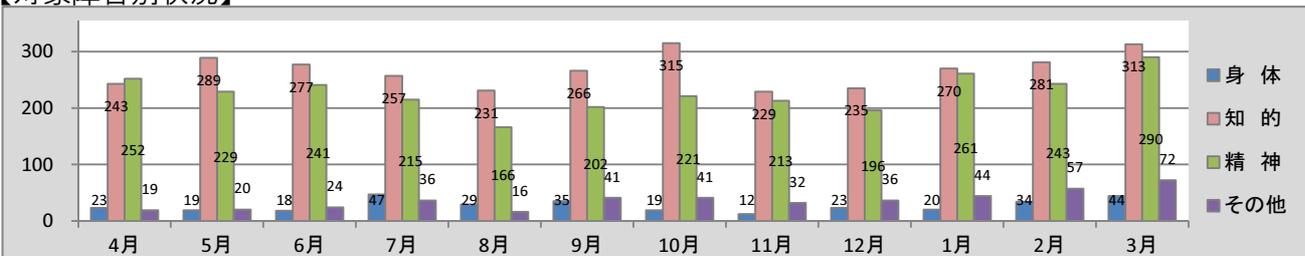
3. 相談支援の活動状況

【相談支援方法別状況】



3. 相談支援の活動状況 (つづき)

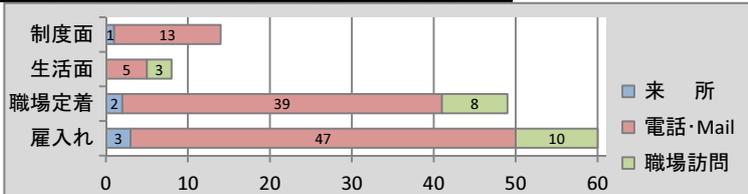
【対象障害別状況】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	(割合)
身体	23	19	18	47	29	35	19	12	23	20	34	44	323	4.8%
知的	243	289	277	257	231	266	315	229	235	270	281	313	3,206	47.9%
精神	252	229	241	215	166	202	221	213	196	261	243	290	2,729	40.8%
その他	19	20	24	36	16	41	41	32	36	44	57	72	438	6.5%
計	537	557	560	555	442	544	596	486	490	595	615	719	6,696	—

今年度はスタッフの入れ替わりもあり、前年より591件減少しています。年度後半からは、新人スタッフも頑張りをを見せてくれており、2月3月と件数は増えてきています。おそらく次年度も増え続けると思います。
 職場訪問は135件増加しており、在職中の方が増えたことや定着支援の重要性を意識してきた結果、と自画自賛です。たすくでは、支援の方法手段としてメールを多く利用しています。パソコンや全スタッフが所持しているPHSを活用し、最近ではご本人と履歴書の書き方や書類などを添付ファイルを使ってやり取りしたり、職場や支援機関と連携する為のツールとして欠かせない物になっております。電話だと時間が遅くなって繋がらなかったり、連絡を取るタイミングを逃してしまったりすることがありますが、今更ですが大変便利だと感じています。『電話・MAIL』のうち1/4以上はMAILでのやり取りになっています。

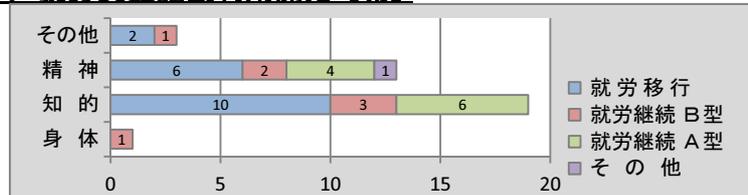
4. 事業主(企業)からの相談、対応状況



	(件)				
	雇入れ	職場定着	生活面	制度面	計
来所	3	2	0	1	6
電話・Mail	47	39	5	13	104
職場訪問	10	8	3	0	21
計	60	49	8	14	131

事業主からの相談件数は、昨年と比べると約40件減少しました。そんな中でも、「制度面」に関する相談は増加しており、納付金制度の改定や、精神障がい者の雇用義務化などの影響を感じています。今後は、差別禁止や合理的配慮などが、地域社会に少しでも浸透していくよう、企業の立場にたった多様な提案ができるよう、理念を忘れず、知識やスキルを身につけていきたいと考えています。

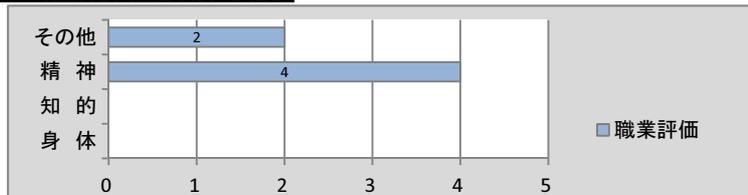
5. 就労支援施設利用開始 状況



	(人)				
	身体	知的	精神	その他	計
就労移行	0	10	6	2	18
就労継続 B型	1	3	2	1	7
就労継続 A型	0	6	4	0	10
その他	0	0	1	0	注5 1
計	1	19	13	3	36

注5 その他機関 … 自立訓練事業

6. 職業評価依頼 状況

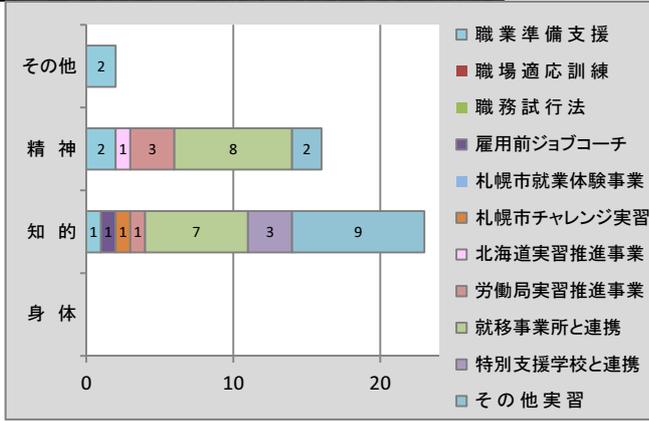


(人)	
	職業評価
身体	0
知的	0
精神	4
その他	2
計	6

たすくでの相談を経て、就労移行支援事業所等を利用して一般就労を目指す方々が年々増加しています。取り組みされたい内容や通所便などに合わせ、複数の就労移行支援事業所を見学・体験・比較検討したうえで「自分に合った支援事業所」を選択できるよう支援しています。
 その人の個性(特性)に合わせた個別支援を対応頂ける事業所も増えてきており、就職後の定着支援についても色々な形で役割分担させて頂いています。たすくで出来る事前アセスメントを進め、一人一人により良い支援ができるよう心がけていたいと思っています。

7. 職場実習・職業準備支援 実施状況

(人)



	身体	知的	精神	その他	計
職業準備支援		1	2	2	5
職場適応訓練					0
職務試行法					0
雇用前ジョブコーチ		1			1
札幌市就業体験事業					0
札幌市チャレンジ実習		1			1
北海道実習推進事業			1		1
労働局実習推進事業		1	3		4
就移事業所と連携		7	8		15
特別支援学校と連携		3			3
その他実習		9	2		11
計	0	23	16	2	41

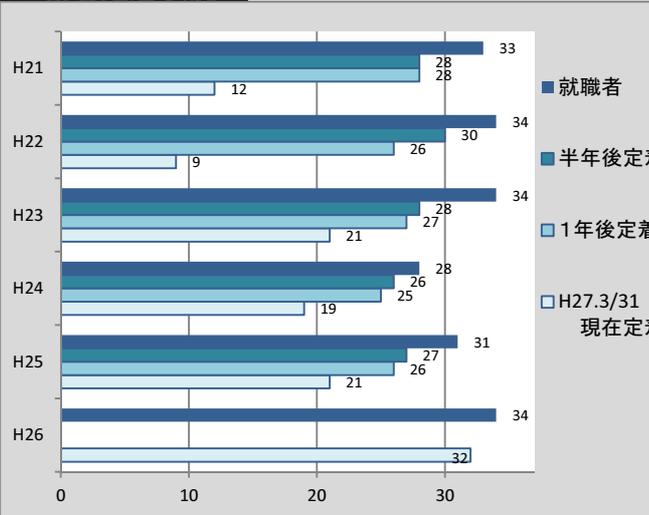
8. 就職状況

(人)



	身体	知的	精神	その他	計
20h未満	0	0	0	0	0
20h以上～30h未満	0	3	7	0	10
30h以上	1	17	6	0	24
計	1	20	13	0	34

9. 職場定着状況



	就職者	半年後		1年後		H27.3/31現在	
		定着者	率	定着者	率	定着者	率
H21	33	28	84.8%	28	84.8%	12	36.4%
H22	34	30	88.2%	26	76.5%	9	26.5%
H23	34	28	82.4%	27	79.4%	21	61.8%
H24	28	26	92.9%	25	89.3%	19	67.9%
H25	31	27	87.1%	26	83.9%	21	67.7%
H26	34	—	—	—	—	32	94.1%
計	127	81	86.9%	78	82.5%	93	73.2%

就業・生活支援センター事業では、毎年度「職場実習件数」「就職件数」などの目標値設定・達成を求められますが、昨年度からは「職場定着率」が新たに加えられました。

9. 職場定着状況 を作製するなかで、平成21～22年に就職された方の離職率の高さに愕然としました。

就業を継続されている方に着目すると、ご本人も企業も、何かあった時に相談発信される傾向が高い事が分かりました。

必要な時に支援者を上手く活用できるか、信頼関係や適度な距離感の構築が職場定着の一つのポイントなのかもしれません。

一方で、離職された方々を振り返ると、働く意義・目的の共有やマッチングの重要性を再認識すると共に、職場へのキャリア形成の働きかけ不足など、反省すべき点も多々あります。（平成26年度就職者34名の内、転職的な支援が6名）

相談者のニーズが多様化するなか、一人一人の職業生活の考え方も様々であることを踏まえて、今後も地域の就労支援機関として役割を果たして行きたいと思っております。

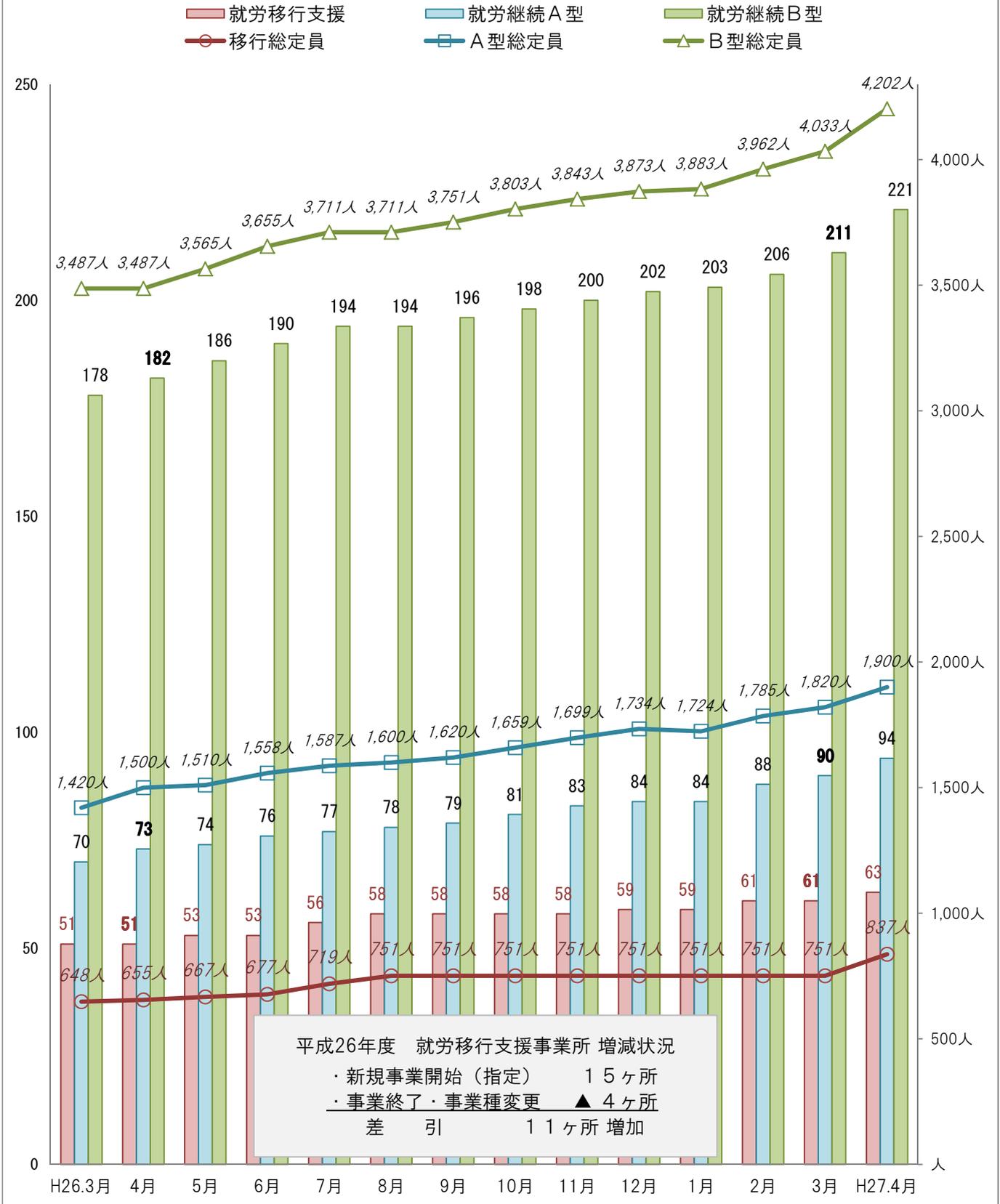
平成27年度も、地域関係機関のみな様と“顔の見える”信頼関係を築いて、「その方らしく、働き・暮らす」をサポートしてまいります。 ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成 27 年 4 月 20 日

札幌障がい者就業・生活支援センター たすく スタッフ一同

【参考資料】

平成26年度 札幌市内就労系事業所の推移



	H26.3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H27.4月
就労移行支援	51	51	53	53	56	58	58	58	58	59	59	61	61	63
移行総定員	648人	655人	667人	677人	719人	751人	837人							
就労継続A型	70	73	74	76	77	78	79	81	83	84	84	88	90	94
A型総定員	1,420人	1,500人	1,510人	1,558人	1,587人	1,600人	1,620人	1,659人	1,699人	1,734人	1,724人	1,785人	1,820人	1,900人
就労継続B型	178	182	186	190	194	194	196	198	200	202	203	206	211	221
B型総定員	3,487人	3,487人	3,565人	3,655人	3,711人	3,711人	3,751人	3,803人	3,843人	3,873人	3,883人	3,962人	4,033人	4,202人

※ 札幌市ホームページ「障がいのある方へ」に毎月アップされた指定事業所情報を集約したものです。